国際大会調査報告書
FIBA 3x3 World Tour Utsunomiya

作成:独立行政法人日本スポーツ振興センター　情報・国際部　国際戦略課
協力:宇都宮市

本レポートは、日本スポーツ振興センター(JSC)が、5 月 13 日～15 日に行われた「FIBA 3x3 World Tour Utsunomiya Opener 2022」の視察及び宇都宮市関係者などからのヒヤリング情報に基づき作成したものである。

KEYWORDS
- 地域資源を活用した大会実施
- 国際大会を生かした歴史・文化の PR
- スポーツを通じた地域活性化と街づくり
- アーバンスポーツ推進戦略の成功事例

東京 2020 オリンピックで公式競技として採用された 3x3 バスケットボール、BMX フリースタイル、スケートボード、スポーツクライミングに加え、パリ 2024 オリンピックから採用されるブレイキンなどのアーバンスポーツが、近年、世界中から注目されている。

大規模なスタジアムやアリーナではなく、既存の広場や公共スペースといった、日常で目にしている場所がそのまま会場になる。また、フェスなどの音楽や若者文化との親和性も見逃せない。これらの文化と融合することによって、従来のスポーツとは異なり、より身近に、より全身で感じながら競技を楽しむことが可能となる。これまでにない一体感を得られる、まさに新しい時代のスポーツといえる。

特に 3x3 は、エンターテインメントの要素が強く、観客席から競技エリアまでの距離が近いので、アスリートと観客が一体となって楽しめるイベントである。栃木県宇都宮市は、全国に先駆けて 2016 年から 3x3 バスケットボールの国際大会を誘致し、交流人口の増加による地域経済の活性化につなげてきた他、宇都宮市の歴史・文化との融合や魅力的な地域資源の活用により、大会に「宇都宮ブランド」といった新しい価値をもたらしてきた。

3x3 バスケットボールの特徴

3on3 から 3x3 へ

3on3 としてストリートなどでプレーされていた 3 人制バスケットボールに国際バスケットボール連盟(FIBA)の元で世界統一ルールが設けられ、2007 年に 3x3 として誕生。東京 2020 大会でオリンピック正式種目として初めて実施された。

競技の特徴

1. プロ・アマチュアを問わず選手登録ができるため、世界トップレベルの選手と闘うことも夢ではない。
2. 5 人制バスケットボールはチームにランキングポイントが与えられるのに対し、3 人制は個人にそれが与えられる。また、ルールに関しても、コート、試合時間、ボールのサイズやショットクロック、得点など 5 人制とは異なる点が多い。
3. ショッピングセンターやビーチサイド、市街地、歴史的建造物の前など様々な場所にコート設置が可能であり、その地域特性を生かした大会実施ができる。

図1. 大会パンフレット内に掲載されている 3x3 の基本ルール



資料提供:FIBA3x3WorldTourUtsunomiya 実行委員会

2022.7.1

REPORT

持続可能な大会運営

FIBA 3x3 World Tour と FIBA 3x3 ASIA CUP がバスケットボールの統括団体として初めて持続可能性に関する国際標準規格 ISO 20121 を取得した。ISO 20121 は、2012 年のロンドンオリンピック・パラリンピック大会を契機に、国際的に認知された規格で、イベント・サステナビリティ・マネジメントシステムの要件を定めている。この規格は、組織が経済的な成功を継続し、社会的責任を果たし、環境フットプリントの削減を可能にする仕様を提供している。

FIBA 3x3 World Tour Utsunomiya

宇都宮市は国際バスケットボール連盟（FIBA）が主催する「3x3」のクラブチーム世界一決定戦「FIBA 3x3 World Tour」を 2016 年から誘致してきた。2020 年、2021 年は、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、大会開催を見送ったが、2022 年の大会は、FIBA が 2022 シーズンから新たに位置付けた World Tour 開幕戦「Opener」として開催された。「Opener」では 3 日間で市内外から延べ 48,000 人の観客を動員し（パブリックビューイングを含む）、試合観戦のみならず、物品販売のほか、セッション間に行われる和太鼓やブレイキンなどのパフォーマンスを楽しめる機会が提供された。

「FIBA 3x3 World Tour Utsunomiya Opener 2022」開催概要

主催：FIBA
主管：FIBA 3x3 World Tour Utsunomiya 実行委員会
協力：公益財団法人日本バスケットボール協会（JBA）
会場：宇都宮二荒山神社参道及び宇都宮市バンバ市民広場
　　JR 宇都宮駅から徒歩 15 分（1.2km）
　　東武宇都宮駅から徒歩 10 分（0.8 ㎞）
大会 HP：https://3x3exe.com/worldtour/

日時：
5 月 13 日（金）オープニングセレモニー｜18:00-（17:30 開場）
5 月 14 日（土）オープニング｜11:30-（9:30 開場） 試合｜12:00-
5 月 15 日（日）オープニング｜12:50-（9:30 開場） 試合｜13:00-

競技方法：
［予選］ 出場 12 チームを 4 グループに分け、各グループ総当り戦を行う 12 試合
［決勝］ 予選の上位 8 チームによるトーナメントにより 1 位チームを決定 7 試合

出場チーム：
- 前シーズンの FIBA3x3 チームランキング上位 10 チーム UB（セルビア）、RIGA（ラトビア）、LIMAN（セルビア）、ANTWERP（ベルギー）、AMSTERDAM（オランダ）、SAKIAI（リトアニア）、JEDDAH（サウジアラビア）、Vienna（オーストリア）、LAUSANNE（スイス）、PRINCETON（アメリカ）
- 開催都市枠
  UTSUNOMIYA（UTSUNOMIYA BREX. EXE）
- ワイルドカード枠
  TOKYO（TOKYO DIME.EXE）

※国内の有力な3チームによるワイルドカード枠決定戦の結果 TOKYO が予選に出場

宇都宮市と 3x3

宇都宮市と 3x3 の始まりは 2015 年に 3x3 の国内トップリーグの大会を初めて開催したことである。これがきっかけで、2016 年のワールドツアー初開催へと繋がった。同市には、国際基準を満たすようなスポーツ施設がなかったため、広場など既存の都市インフラを活用できる 3x3 は最適な競技であった。

2018 年からは 3x3 の普及促進を目的として市内小中学校への 3x3 公式球の配布や屋外バスケットゴールの設置、大会出場選手が小学校を訪問し、子供たちとの交流を行う学校訪問事業の実施、2019 年には U12 3x3 大会「宇都宮市長杯」の開催など、宇都宮市の若い世代が 3x3 に親しみやすい環境づくりにも積極的に取り組んでいる。

宇都宮市は「3x3 のまち宇都宮」をスローガンに掲げ、多くの宇都宮市民や県外、国外から集まった人々へ世界最高峰の戦いを体感できる機会を提供し、全世界へ宇都宮の文化や魅力を発信してきた。

FIBA と宇都宮市、そして国内における FIBA との優先交渉権を有するクロススポーツマーケティング株式会社の3者は、World Tour 開幕戦「Opener」を 2024 年まで同市で開催することを合意し、2022 年 5 月 13 日、正式に調印した。また、同市は他の都市との違いを明確にし、「宇都宮だからこそ実施できる大会」として「Opener」を開催することが重要であると考えている。

2022.7.1





©FIBA 3x3 World Tour Utsunomiya 実行委員会

歴史・文化との融合

会場は、約 1600 年にわたって宇都宮の街を見守り、宇都宮の歴史と文化の象徴である「宇都宮二荒山神社」の大鳥居前となった。2016 年の初開催以来、歴史・文化と近代的な街並みが融合し、多くの市民が利用するこの場所を舞台に、「まちに開かれ、まちと一体となった」大会が開催されている。

参道に仮設コートが設置され、鳥居を背景に熱い戦いが繰り広げられた。また、本殿へと続く階段は観客席へと変貌し、神社を最大限有効活用した。

一見正反対とも思える「神社」とアーバンスポーツである「3x3」であったが、宇都宮二荒山神社は開催の計画段階から、神前での賑わい創出の観点から全面的に協力する意向を示していた。また、FIBA 側も会場選定に関して、人通りの多く、文化的な要素を含んだ場所であることの 2 点を条件としていたため、宇都宮市・宇都宮二荒山神社と FIBA の思惑が見事に一致した。

従来のコートにとらわれない海外からも注目される舞台設定や、地元のお祭りとの連携、将来性などが高く評価され、2019 年にスポーツ庁、文化庁及び観光庁が共同で募集する「スポーツ文化ツーリズムアワード」において「スポーツツーリズム賞」を受賞している。



©FIBA 3x3 World Tour Utsunomiya 実行委員会

コロナ禍での開催

2022 年大会は新型コロナウイルス感染症の影響により、3 年ぶりの開催となった。感染症対策に係る関係機関などとの細かな調整により、世界各地から来日した 100 名以上の選手や競技役員を受け入れ、安全・安心な大会運営を実現した。

スポーツを通じた街づくり

宇都宮市は 3x3 だけではなく、「自転車のまち」としても広く知られている。1992 年より宇都宮市で開催されているジャパンカップサイクルロードレースは、日本で唯一、国際自転車競技連合（UCI）より、ワールドツアーに次ぐ“プロシリーズ”に認定された自転車ロードレースである。3日間の日程で行われるジャパンカップは、レースだけでなく様々なイベントが開催される「自転車のまち宇都宮」が誇る年に一度の自転車の祭典である。今年は 10 月 14 日（金）から 16 日（日）までの日程で、3 年ぶりに開催されることも決定している。このように数多くのスポーツイベントを成功させてきた背景には、同市をホームタウンに活動する「栃木 SC」「宇都宮ブレックス」「宇都宮ブリッツェン」の3つのプロスポーツチームに市職員を派遣し、スポーツイベントの運営などに係る経験を積んできたことも大きく関係している。

2022.7.1



©JAPANCUP UTSUNOMIYA

宇都宮市は 3x3 と自転車、そして今後は新たなアーバンスポーツの発掘・創出にも着手する予定であり、年間を通じてスポーツで多くの人を呼び込むことを目指している。また、来年には、JR 宇都宮駅を起点として東に 15km のエリアに路面電車・LRT（Light Rail Transit)を開業予定であり、LRT 沿線を基軸としたスポーツを含めた街づくりにも今後取り組む計画である。



写真提供：宇都宮市

宇都宮市は今後も魅力あふれる地域資源を活用し、スポーツを通じた街づくりを行っていく。そして、それを経済・地域の活性化につなげることが同市の目指すところである。

＊栃木県宇都宮市は JAPAN SPORT NETWORK 参加自治体です。
https://www.jpnsport.go.jp/jsn/index.html

参照：

FIBA3x3: FIBA 3x3 World Tour and FIBA 3x3 Asia Cup become first-ever basketball competitions to be awarded international sustainability standard
https://worldtour.fiba3x3.com/2022/news/fiba-3x3-world-tour-and-fiba-3x3-asia-cup-become-first-ever-basketball-competitions-to-be-awarded-international-sustainability-standard

FIBA 3x3
https://fiba3x3.com/

Japan Cup Cycle Road Race
https://www.japancup.gr.jp/

芳賀・宇都宮 LRT
https://u-movenext.net/

2022.7.1